

はじめに・・・

これを読まれている方は、採用されてから5年以内の方もいれば、20年以上の学級担任経験者であり教職経験豊富な方もいらっしゃると思いますが、年間に学級会は何回ぐらいされていますか。一般的に小学校では、代表委員会から下りてくる議題が3つあります。

- ① 学校生活改善について
- ② 運動会について
- ③ 6年生を送る会について

これで学級会は3回できます。校内研究で特別活動をされているところは、学年問わず学級会をされていますが、それ以外に学級会をされる方がどのぐらいいらっしゃるのでしょうか…。学級会の取組は先生によって差があるようです。

「学級会のよさってなんですか。」「どのように進めたらいいのですか。」「低学年ではどうしたらよいですか。」などの質問を受けることがあります。国立教育政策研究所から出されている「みんな、よりよい学級・学校をつくる特別活動」指導資料には、丁寧に学級会の意義や進め方等が説明されています。また、東部教育事務所HPからは、学級会司会進行マニュアルや学級会ノートの様式がダウンロードできるようになっています。今回「学級会のススメ」ということで、先生方が気軽に「学級会をしてみようかな」という思いになれるような内容を月に1回更新でテーマごとに紹介したいと思います。

【今後の予定】

1回目（6月）・・・はじめに

学級会の「すき間」がなかなか埋まらない現状があります。「なるほど～」と思ってもらえるような内容を掲載していきたいと思います。

2回目（6月）・・・学級会の良さや意義について

「学級会をすれば、どんな良いことがあるの?」「時間と労力がかかる割には…」などと思っている方もいらっしゃるかと思いますので、子供の思いを通じて伝えたいと思います。

3回目（7月）・・・議題について

誕生日会やお楽しみ会などの定番のものもあれば、学校生活問題解決型もあります。学級が活性化したり、子供が主体的に活動したりする議題例を紹介します。

4回目（8月）・・・学級会の一連の流れについて

学級会本番までの準備をいつ、どのようにされているのか担任の裁量次第、表に出ることはなかなかありません。また、実践の後の振り返りまでを「見える化」したいと思います。

5回目（9月）・・・司会グループについて

発達段階によって、子供に司会を委ねるのか、先生が進めるのか。どの程度子供に役割を与え、任せるのか。どのようにして決めるのかをお伝えします。

6回目（10月）・・・合意形成について

学級会の一番の山場かもしれません。「うまくまとまらずに終わってしまった」と聞くこともしばしば…。合意形成に至るまでのプロセスと関係づけてお伝えします。

7回目（11月）・・・場の設定について

ここでは、子供に特別感をもたせるために「こんなこともやってみては?」というご提案をしたいと思います。

8回目（12月）・・・終わりに

全体を通しての総括と今後に向けての展望などを伝えたいと思います。

